

経営ルネサンス—彩の国・企業の挑戦

のびのびのび 埼玉企業

米菓製造機で8割

せんべいなどの米菓や、労働を見て、機械化できないスナックを作るための製いかと始めたのがきっかけ」と新井社長。

せんべいの製造工程では八割のシェアを占め、東南アジアなどにも輸出している。米菓製造販売を行う新井製菓と米菓原料を扱う新井、新瀉支店などを含めたグループをまとめるのが新井清一社長だ。「手作りの味わいを損なうことのないように、最新のメカトロニクス技術を導入。需

■せんべいの製造販売から始まった

新井機械製作所は、一九四九年に現新井社長が興した。「父(好四郎さん)が一九二四年に新井製菓を創業し、手作り、天日干しでせんべいを製造販売していた。父の苦

■全自動乾燥機の開発で米菓業界の礎を築く

「大きな転機となったのは、一九六五年に開発したファースト・バンド・ドライヤー(FBD、全自動乾燥機)。生地作

新井機械製作所(深谷市)

手づくりの味わいを

■20年ほど前から海外にもプラントを輸出

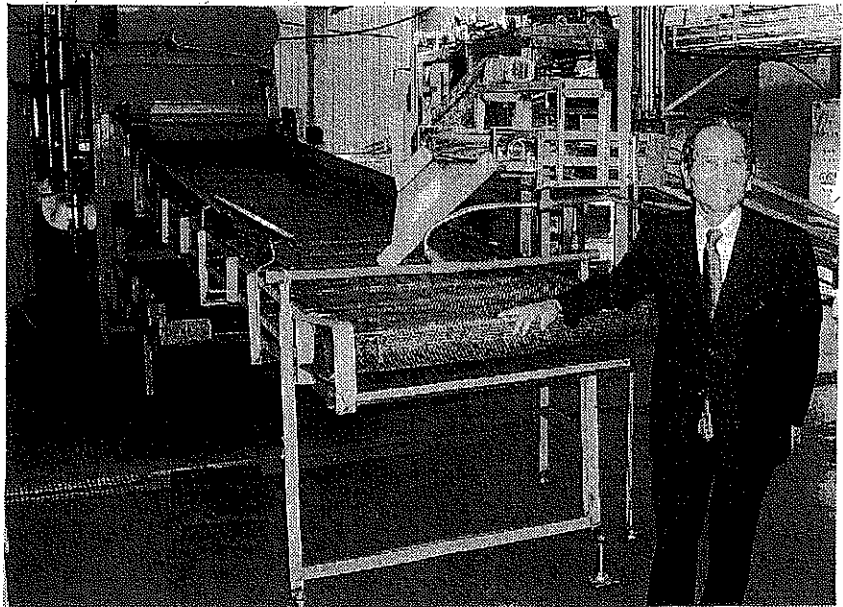
同じ米の消費国である台湾、中国にプラントの輸出を始めたのは、二十年前ほど前になる。ヘルシーな日本のせんべいは最近、欧米でも大人気。輸出先は東南アジアからアメリカ、ヨーロッパにまで広がっている。

■全自動乾燥機の開発で米菓業界の礎を築く

「大きな転機となったのは、一九六五年に開発したファースト・バンド・ドライヤー(FBD、全自動乾燥機)。生地作

■せんべいの製造販売から始まった

新井機械製作所は、一九四九年に現新井社長が興した。「父(好四郎さん)が一九二四年に新井製菓を創業し、手作り、天日干しでせんべいを製造販売していた。父の苦



せんべいの製造ラインと新井清一社長(深谷市本田ヶ谷の新井製菓)

所在地 深谷市沼尻6-55(本社)

創業 1949年

資本金 3000万円

売上高 新井グループ全体で約30億円(02年度)

従業員 1800人

作所は米菓製造機械製作、スナック製造機械製作、ライタン製造機械製作、菓子製造機械製作、新井製菓では米菓製造および販売、新井では米菓原料、調味料の販売など

企業、団体、商店などで主催する経営セミナー、講演会、イベントなどの情報を無料で掲載し、開催要項をメールかファクスで報開発室まで送付ください。

【Eメール】 hanbai@saitama-np.cc

【ファクス】 048・861・859